

「漸進的無償化@日韓」 科研企画 2019（1）のご案内



韓国における漸進的無償化に係る法枠組みと主要教育政策

日 時：2019年6月8日（土）13:30～16:30

場 所：神戸大学発達科学部 A棟1階「D-ROOM」（〒657-8051 神戸市灘区鶴甲3-1-1）

<http://www.kobe-u.ac.jp/guid/access/rokko/turukabuto-dai2.html>

アクセス：JR六甲道駅前/阪急六甲駅前から市バス36番にて「人間発達環境学研究科前」下車
（所要時間22～16分ほど）

<http://www.h.kobe-u.ac.jp/ja/access>

次 第：**韓国における漸進的無償化に係る法枠組みと主要教育政策**

キム フン ホ
Kim Hoonho氏 現・国立公州大学校准教授/前・韓国教育開発院（KEDI）研究員

第4回日韓シンポジウム（2016.1.）において「韓国の国家奨学金制度の導入目的および現況」を、「漸進的無償化」科研2017特別企画2（2017.11）において「韓国における文在寅政府の主要な教育政策：前政府との相違を中心に」を、ご報告下さいました。今回は、漸進的無償化に係る大韓民国憲法・条約・教育基本法等の法枠組みと、新政権のその後の教育政策の展開についてお話しをいただきます。（通訳あり）

関連文献 <http://www.lib.kobe-u.ac.jp/repository/81009358.pdf> <http://www.lib.kobe-u.ac.jp/repository/81009992.pdf>

定 員：30名（参加希望の方は渡部まで必ずご一報下さい）参加費不要



概 要：

「漸進的無償化」科研2015-17では共同研究グループとして「アジア研究G」を設けて、日韓共同研究を進めてきました。1年の準備期間において、2019～21年度の予定で「高等教育における経済的負担軽減及び修学支援に係る法・制度・行財政の日韓比較研究」（略称：「漸進的無償化@日韓」科研）を再開することになりました。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

（会場周辺には食堂・売店がありません。必要なものは購入して持参ください。）

基盤研究(C)課題番号 19K02864

略称「漸進的無償化@日韓」科研

研究代表者 渡部昭男（神戸大学大学院教授）

akiowtnb@port.kobe-u.ac.jp